

高校球児の未来に新たな選択肢。 アスリートブランドが提案した「米大学で野球を続ける」進路が、 西田選手により MLB へつながる道に

高校卒業後、当社プログラムで米大学野球留学に挑戦した西田陸浮選手がメジャーリーグ昇格・初安打を記録

アメリカ大学スポーツ留学を専門にサポートするアスリートブランドジャパン株式会社（東京都千代田区）は、当社の米大学野球留学プログラムを通じてアメリカ大学野球に挑戦した西田陸浮選手が、シカゴ・ホワイトソックスでメジャーリーグ昇格を果たし、2026年5月25日の試合でメジャーリーグ初安打を記録したことを受け、同選手の歩みが、日本の高校野球から米大学スポーツを経て MLB へ到達する道を現実のものとし、日本の高校球児にとって新たな進路を切り開いたことをご報告いたします。

※補足：西田選手は現地時間 2026年6月9日付で、シカゴ・ホワイトソックス傘下 AAA シャーロット・ナイツへオプションされています。本リリースは、5月25日の同選手のメジャーリーグ昇格について、日本の高校野球から米大学スポーツを経て MLB へ到達した初めてのケースとして、日本の高校球児にとって新たな進路を切り開いた意義をお知らせするものです。

今回の出来事は、西田選手個人の快挙であると同時に、アスリートブランドが創業以来 23 年にわたり取り組んできた「日本の高校生アスリートに、アメリカ大学スポーツという新たな進路をつくる」という仕組みにより、世界最高峰の舞台までつながった歴史的な成果です。

当社調べでは、日本人選手がマイナーリーグの下位カテゴリーからメジャーリーグまで昇格した例としては、過去にマック鈴木氏の事例があります。一方で、日本の高校で高校野球に 3 年間取り組み、日本の高校を卒業後、アメリカの 2 年制大学に進学し、そこから NCAA 最高峰であるディビジョン 1 の 4 年制大学へ進み、MLB ドラフト指名を受け、マイナーリーグの下位カテゴリーからメジャーリーグまで昇格した例は、西田陸浮選手が初めてです（当社調べ）。

つまり西田選手の歩みは、単に「メジャーリーガーが誕生した」という出来事ではありません。アスリートブランドが 23 年前前から提案し続けてきた、日本の高校野球からアメリカ大学スポーツへ進むという進路が、そこからさらに MLB ドラフト、マイナーリーグ、そしてメジャーリーグへとつながる仕組みとして現実に成立することを示した初めての例です。日本の高校球児にとって、これまで一般的ではなかったこの道筋を、現実の選択肢として切り開いた象徴的な出来事です。

日本の高校生アスリートに「アメリカ大学スポーツ」という新たな進路をつくる

日本の高校生アスリートにとって、競技を続ける進路は長年、日本国内の大学、実業団、クラブチーム、プロチームなどがほぼすべての選択肢でした。野球であれば、日本の大学野球、社会人野球、独立リーグ、NPB といった道が大きな目標として存在してきました。もちろん、これらは今もなお野球を続ける大多数が選ぶ進路です。

一方で、アスリートブランドは創業以来、そこにもう一つの選択肢があることを示してきました。それが、日本の高校卒業後にアメリカ大学へ進学し、学業と競技を両立しながら、成長していく道です。

アメリカの大学スポーツは、ある側面、日本の部活動の概念を超えた存在であります。NCAA をはじめとする競技環境では、学業、競技、トレーニング、生活、キャリア形成が一体となっており、選手は学生アスリートとして成長しながら、競技者としても、人間としても成長するチャンスを得ることができます。

アメリカ大学スポーツ留学では英語、学業、入学基準、奨学金、大学選び、コーチとの交渉、ビザ、住居、保険、異文化適応など、競技以外の面で生徒の前に立ちはだかるものがいくつもあります。アスリートブランドは、この複雑で前例のない道を現実的な進路として選べるよう、23 年にわたってサポート実績を積み重ねてきました。

日本初。高校野球から米大学スポーツを経て MLB へ（当社調べ）

西田選手は、日本の高校野球部で 3 年間プレーし、日本の高校を卒業しました。その後、アスリートブランドの米大学野球留学海外セレクションに参加しました。同セレクションは、アメリカの大学を実際に回り、大学野球部の練習に参加し、大学野球部コーチから入部の可否を判断してもらうプログラムです。

西田選手は訪問校の一つであるオレゴン州の 2 年制大学、マウントフード・コミュニティ・カレッジの紅白戦でスリーベースを放ったことが大きく評価され、合格をもらいました。その後、アスリートブランドの米大学野球留学プログラムにて同大学へ進学。マウントフード・コミュニティ・カレッジで結果を出し、そこから NCAA ディビジョン 1 のオレゴン大学へ編入しました。

オレゴン大学では 25 盗塁、67 得点のシーズン記録を樹立。2023 年には MLB ドラフト 11 巡目でシカゴ・ホワイトソックスから指名を受け、プロ入り後はマイナーリーグで挑戦を続けました。そして 2026 年 5 月 25 日、シカゴ・ホワイトソックスでメジャーリーグ昇格を果たし、メジャーリーグ初安打を記録しました。なお、現地時間 6 月 9 日付で、同球団傘下 AAA シャーロット・ナイツへオプションされています。

これは、アメリカ大学スポーツ留学が、単なるアメリカ経験や進学の実績ではなく、世界最高峰の競技舞台につながる本格的なキャリアルートであることを示しています。アスリートブランドは、この成果を、当社が掲げる「スポーツで世界の人々と繋げる」というミッションの具現化であり、高校アスリートの卒業後の進路として「アメリカ大学スポーツ留学」という選択肢が実際に世界へつながることを示した象徴的な事例として発表いたします。

西田陸浮選手のコメント

「自分は米大学セレクションでのスリーベースを打ったことで、そこの大学からオファーがあり、あのヒットのおかげで今の自分があります。大変な事も沢山ありましたが、アメリカ大学野球に挑戦できて本当に良かったです」

「甲子園」「NPB」だけではない。アメリカで野球を続けるという球児の新たな道

日本の高校野球には長い歴史と素晴らしい文化があります。甲子園を目指すこと、NPB を目指すことは、多くの高校球児、ジュニアプレイヤーにとって大きな夢です。しかし、夢はいろいろあっていい。目指すべき道がいろいろあれば、野球を始めるきっかけ、野球を続ける理由を提供することができます。

高校時代の評価、体格、プレースタイル、学力、性格、将来の目標、成長のタイミングは選手によって異なります。高校時代に注目を集めていなくても、環境を変え、時間をかけて成長し、自分の強みを磨き続けることで、世界につながる可能性があります。

高校卒業後にアメリカで野球を続けるからこそ得られる体験があります。野球が国や文化を超えた垣根を取り除き、人々との距離が一気に縮まり、世界の人々と野球を通じてつながる経験ができる。これこそがスポーツ留学の大きな特徴であり、高校生アスリートにとってアメリカ大学スポーツが他とは異なる新たな進路選択肢となりうる意義があります。

西田選手以外にも広がる、アスリートブランド生の活躍

アスリートブランドがこの仕組みで支援してきた米大学スポーツ留学生の活躍は、西田選手だけにとどまりません。レスリングでは 2026 年 3 月に坂本由宇選手がマッケンドリー大学で全米大学チャンピオンに輝きました。サッカーの林織羽選手はアイオワウェスタン大学在籍時に、2025 年に、NJCAA という二年制大学の全米体育連盟加盟校の全大学の女子アスリートを対象にした最も優秀な選手に贈られる「Female Athlete of the Year」に選出され、その後世界的に著名な大学、UCLA に全額奨学金付きで進学し今も在学中（今秋 4 年生）、陸上では、石井優吉選手がペンシルバニア州立大学に進学し、2024 年には南京世界陸上室内選手権の日本代表に選出されました。

一方で、プロになることだけがスポーツ留学の成功ではありません。成功の定義は選手一人ひとりによってさまざまであり、競技は一生続けられるわけではありません。だからこそアメリカ大学スポーツ留学には、競技力の向上だけではない大きな価値があります。

留学で得られるものは語学力だけではありません。異なる文化や価値観の中で学び、生活し、競技を続けることで、視野を広げ、多様性の中で自分を表現し、困難を乗り越えるレジリエンスを養うことができます。そして、どこへ行っても自分の力で生きていける力を身につけることができます。

そうした経験や成長が評価され、アスリートブランド生の中からは、アマゾン、デロイト、富士フイルム、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、楽天、ソフトバンク、日本 M&A センター、SMBC 日興証券、防衛省、ニューバランス、ニトリなど、日本および世界のトップ企業・団体へ内定・就職する卒業生も増えています。

代表・根本真吾コメント

「今回の意義は、西田選手一人の成功にとどまりません。日本の高校生アスリートが、高校卒業後にアメリカの大学スポーツへ進み、アメリカの大学から NCAA ディビジョン 1 へ、さらに MLB ドラフト、プロ、そして最高峰のメジャーリーグへとつながる道が、現実の進路として存在し、実現する者が現れたことを示した点にあります。

創業以来、アスリートブランドは『スポーツで世界の人々と繋げる』というミッションのもと、日本の高校生アスリートに国内だけではない選択肢を提示してきました。アメリカ大学スポーツ留学は、競技を続けるための道ではありません。学業、英語、異文化、仲間、失敗や困難を乗り越える経験を通じて、選手が自分の可能性を広げ、どこへ行っても生きていける力を身につける進路です。

プロになることだけが成功ではありません。ただ、西田選手のメジャー昇格は、この進路が世界最高峰の舞台にもつながり得ることを証明してくれました。甲子園、NPB、日本の大学、社会人野球に加えて、アメリカ大学スポーツという選択肢がある。その道をより多くの高校球児、高校生アスリートに知ってもらい、挑戦できる環境をつくり続けることが、アスリートブランドの使命です」

西田陸浮選手の主な歩み

年	内容
2019年	東北高校3年時、夏の選手権宮城県大会決勝に出場。同年、米大学野球留学セレクションに参加・入部合格獲得
2020年	高校卒業後、オレゴン州のマウントフード・コミュニティ・カレッジへ進学
2022年	ケーブコッドリーグでリーグトップの盗塁を記録。NCAA ディビジョン1・オレゴン大学へ編入
2023年	オレゴン大学で25盗塁、67得点のシーズン記録を樹立。MLBドラフト11巡目でシカゴ・ホワイトソックスから指名
2026年	AAA昇格後、シカゴ・ホワイトソックスでメジャーリーグ昇格。メジャーリーグ初安打を記録。6月9日付でAAAシャーロット・ナイツへオプショナル

アスリートブランドについて

アスリートブランドジャパン株式会社は、2003年創業のアメリカ大学スポーツ留学支援会社です。代表・根本真吾がアメリカ留学・勤務時代に、スポーツが言葉や文化を超えて人と人をつなげる力を実感したことを原点に、スポーツ留学に特化した支援を行ってきました。

創業以来23年にわたり、米大学スポーツ留学におけるパイオニアとして、NCAAをはじめとする大学スポーツ環境への進学、奨学金獲得、大学との交渉、出願手続き、ビザ申請、渡米準備、現地生活、卒業後のキャリア形成までを見据えたサポートを提供しています。野球、サッカー、テニス、陸上、レスリングなど、競技を問わず、日本人アスリートが世界で学び、競技し、人生を切り拓くための仕組みを構築し、支援を続けてきました。

今回の西田選手のメジャーリーグ昇格は、同社が長年にわたり築いてきた「アメリカ大学スポーツという進路」の可能性を象徴する成果です。アスリートブランドは今後も、日本の高校生アスリートに国内だけではなく進路を提示し、スポーツを通じて人生の可能性を広げる支援を続けてまいります。

西田選手の留学のきっかけとなった米大学野球留学海外セレクション

アスリートブランドでは、アメリカの大学複数校を訪問し、現地大学の練習に参加し、米大学コーチに直接見てもらい、入部の可否をもらう「米大学野球留学海外セレクション」を2004年から実施しています。前述の通り、西田選手も東北高校3年の9月に、代表・根本の引率により他の高校生とともに本セレクションに参加し、アメリカ大学野球のキャリアをスタートするきっかけを掴みました。

また、国内でトライアウト形式の練習会と動画撮影を行う国内セレクションも開催しています。現在、定員限定で参加者を募集しています。

■2026年米大学野球留学海外セレクション 第一弾:9/20-27 第二弾:10/4-11 各行程3~8名 人数限定

<https://www.athlete-brand.com/baseball/selection/>

■2026年米大学野球留学国内セレクション 第一弾:8/12,13または13,14 どちらかで開催 第二弾:8月下旬予定

<https://www.athlete-brand.com/baseball-investigation/>

本件に関するお問い合わせ

アスリートブランドジャパン株式会社
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5 九段会館テラス1F
TEL: 03-3230-0036 FAX: 03-5213-4449 E-mail: info@athlete-brand.com